



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション
 コード番号 8119 URL <https://www.sanveicorp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敬幸
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平 敏之 TEL 03-3847-3500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 23,645 | △25.4 | △633 | — | △482 | — | △716 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 31,710 | △1.0 | 1,188 | 190.2 | 1,221 | 165.9 | 493 | 203.1 |

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △310百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 219百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | △302.92 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 209.39 | 205.63 |

(注) 2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | 23,024 | 10,986 | 47.2 | 4,593.64 |
| 2020年3月期 | 22,193 | 11,417 | 51.0 | 4,792.88 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,877百万円 2020年3月期 11,307百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 60.00 | — | 50.00 | 110.00 |
| 2021年3月期 | — | 10.00 | — | | |
| 2021年3月期（予想） | | | | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|--------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 32,000 | △22.4 | △1,000 | — | △900 | — | △1,000 | — | △422.33 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期3Q | 2,552,946株 | 2020年3月期 | 2,552,946株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 185,107株 | 2020年3月期 | 193,614株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期3Q | 2,365,172株 | 2020年3月期3Q | 2,354,778株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に翻弄される厳しい状況となりました。2020年5月の緊急事態宣言解除以降、自粛ムードの緩和による個人消費の回復や外需にけん引された設備投資の回復、また官公需の伸張など、第3四半期には、幅広い需要項目に回復が見られましたが、年末にかけて、再び感染者数が増加に転じたことで、新型コロナウイルス感染症収束への道筋とともに、経済についても引続き先行き不透明な状況にあります。

当社グループは、「くらしに、良いものを。」をテーマに、私たちの暮らしに寄り添う生活用品の取扱いを事業の軸に置き、お客様のブランド商品を製造・品質管理・物流まで一貫して提供する「OEM事業」と、OEM事業で培ってきた海外ビジネスの知識と経験を活用し、自社ブランドや海外の秀逸なブランドを販売する「ブランド事業」という二つのビジネスモデルを展開しております。

当第3四半期連結累計期間のOEM事業は、新型コロナウイルスの影響により世界的に需要が減少しましたが、当社グループにおいても、それに伴う受注減少から、大幅な減収となりました。ブランド事業におきましては、巣ごもり需要を背景に家具家庭用品事業セグメントにおけるネット販売は引き続き好調に推移したものの、実店舗を販路の軸とする服飾雑貨事業セグメントにおいては、コロナ禍における外出自粛の影響が大きく、事業全体では減収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比25.4%減少の236億4千5百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少を主因に、売上総利益は前年同期比26億3千8百万円減少の67億2千2百万円となりました。営業利益、経常利益につきましても、それぞれ前年同期比18億2千2百万円減少の6億3千3百万円の損失、同17億4百万円減少の4億8千2百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期比12億9百万円減少の7億1千6百万円の損失となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比13.1%減少の121億5千1百万円となりました。OEM事業では、国内外ともにコロナ禍での出荷減により大きく減少となりました。一方、ブランド事業においては、「MINT（ミント）」などの家具・インテリアのネットショップの売り上げが、巣ごもり需要を背景に好調に推移し、前年同期比で大きく伸長しました。

セグメント利益については、ブランド事業は増益となったものの、OEM事業での減益を主因に、前年同期比3億1百万円減少の5億1千1百万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比40.8%減少の67億3百万円となりました。OEM事業では、コロナ禍でトラベル商材の需要が大きく落ち込んだことなどにより、国内外ともに大幅な売上減少となりました。ブランド事業においては、ドイツのコンフォートシューズブランド「BIRKENSTOCK（ビルケンシュトック）」等を販売する㈱ベネクシーおよびベルギーのプレミアム・カジュアルバッグブランド「Kipling（キプリング）」を販売する㈱L&Sコーポレーションの売り上げが、2020年春の緊急事態宣言下の店舗営業自粛の影響に加え、その後も外出自粛の影響により、大きく減少しました。

セグメント利益については、売上減少により、前年同期比で11億6千7百万円減少し、6億9千2百万円の損失となりました。

(家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比30.8%減少の33億3百万円となりました。OEM事業では、国内外ともにコロナ禍での出荷減が響き、大きく減少となりました。ブランド事業においては、理美容家電・調理家電などを取扱う㈱ゼリックコーポレーションの売り上げが、巣ごもり需要を背景に調理家電が堅調に推移したものの、コロナ禍の影響で予定していた新商品投入の時期を遅らせたことや、外出自粛の影響で理美容家電の需要が落ち込んだことなどにより、前年同期比で減少しました。

セグメント利益については、OEM事業での売上高の減少を主因に、前年同期比4億1千3百万円減少の6千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億3千1百万円増加の230億2千4百万円となりました。

主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」「商品及び製品」「投資有価証券」がそれぞれ10億2千8百万円、7億8千9百万円、7億5千2百万円増加した一方、「現金及び預金」が15億2千7百万円減少しております。

主な負債の変動は、「未払法人税等」が2億7千4百万円減少した一方、「短期借入金」が16億7千1百万円増加しております。

主な純資産の変動は、「その他有価証券評価差額金」が5億3千7百万円増加した一方、「利益剰余金」が8億5千8百万円減少しております。

この結果、自己資本比率は47.2%、1株当たり純資産は4,593円64銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2020年7月21日付「2021年3月期業績予想、配当予想及び剰余金の配当等の決定に関する方針変更に関するお知らせ」にて公表いたしました2021年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途公表しております「特別損失（連結・個別）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,075,432 | 3,547,553 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,849,321 | 4,877,550 |
| 商品及び製品 | 6,852,923 | 7,642,738 |
| 仕掛品 | 37,166 | 49,825 |
| 原材料及び貯蔵品 | 131,645 | 221,355 |
| 前渡金 | 43,536 | 104,018 |
| 前払費用 | 192,876 | 100,267 |
| その他 | 386,575 | 349,697 |
| 貸倒引当金 | △8,361 | △7,771 |
| 流動資産合計 | 16,561,118 | 16,885,235 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,262,827 | 1,292,580 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 185,138 | 150,900 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 241,694 | 157,306 |
| 土地 | 665,828 | 665,828 |
| リース資産(純額) | 8,068 | 22,328 |
| 建設仮勘定 | 57,483 | 24,104 |
| その他 | 81,530 | 79,096 |
| 有形固定資産合計 | 2,502,571 | 2,392,145 |
| 無形固定資産 | 823,833 | 724,830 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,495,651 | 2,247,833 |
| 長期貸付金 | 11,561 | 11,128 |
| 繰延税金資産 | 30,733 | 71,295 |
| その他 | 804,452 | 732,817 |
| 貸倒引当金 | △36,168 | △40,449 |
| 投資その他の資産合計 | 2,306,230 | 3,022,626 |
| 固定資産合計 | 5,632,634 | 6,139,602 |
| 資産合計 | 22,193,752 | 23,024,837 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,176,099 | 2,039,620 |
| 短期借入金 | 1,908,830 | 3,580,721 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 200,000 |
| リース債務 | 82,849 | 85,987 |
| 未払金 | 1,048,817 | 1,062,400 |
| 未払費用 | 378,164 | 356,131 |
| 未払法人税等 | 481,797 | 207,772 |
| 未払消費税等 | 62,677 | 78,056 |
| 賞与引当金 | 365,800 | 322,105 |
| 役員賞与引当金 | 29,920 | 16,648 |
| 商品自主回収関連損失引当金 | 40,229 | 32,234 |
| その他 | 338,394 | 207,201 |
| 流動負債合計 | 6,913,581 | 8,188,881 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,950,000 | 1,950,000 |
| 長期借入金 | 1,250,000 | 1,050,000 |
| リース債務 | 5,333 | 14,535 |
| 繰延税金負債 | 76,388 | 261,756 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 70,058 | 70,058 |
| 役員退職慰労引当金 | 57,992 | 62,696 |
| 退職給付に係る負債 | 191,923 | 177,024 |
| 資産除去債務 | 245,259 | 248,050 |
| その他 | 15,407 | 15,832 |
| 固定負債合計 | 3,862,362 | 3,849,954 |
| 負債合計 | 10,775,943 | 12,038,835 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,914 | 1,000,914 |
| 資本剰余金 | 688,256 | 696,808 |
| 利益剰余金 | 9,552,012 | 8,693,909 |
| 自己株式 | △384,341 | △367,466 |
| 株主資本合計 | 10,856,842 | 10,024,164 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 417,736 | 955,131 |
| 繰延ヘッジ損益 | 27,802 | △17,587 |
| 土地再評価差額金 | 158,741 | 158,741 |
| 為替換算調整勘定 | △153,131 | △243,448 |
| その他の包括利益累計額合計 | 451,148 | 852,836 |
| 新株予約権 | 78,828 | 73,705 |
| 非支配株主持分 | 30,990 | 35,294 |
| 純資産合計 | 11,417,809 | 10,986,002 |
| 負債純資産合計 | 22,193,752 | 23,024,837 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|---------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 31,710,676 | 23,645,297 |
| 売上原価 | 22,349,271 | 16,922,836 |
| 売上総利益 | 9,361,404 | 6,722,461 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 1,865,496 | 1,570,999 |
| 一般管理費 | 6,307,383 | 5,784,971 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 8,172,880 | 7,355,971 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 1,188,524 | △633,509 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 21,228 | 17,545 |
| 受取配当金 | 37,920 | 66,730 |
| 有価証券売却益 | 2,439 | — |
| デリバティブ評価益 | 1,532 | 325 |
| 助成金収入 | — | 111,524 |
| その他 | 16,144 | 14,131 |
| 営業外収益合計 | 79,264 | 210,255 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27,060 | 22,704 |
| 有価証券売却損 | 4,289 | — |
| 為替差損 | 14,429 | 35,184 |
| その他 | 440 | 1,382 |
| 営業外費用合計 | 46,220 | 59,271 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 1,221,567 | △482,524 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,070 | — |
| 投資有価証券売却益 | 9,621 | — |
| 特別利益合計 | 13,692 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7,206 | 8,199 |
| 固定資産売却損 | 451 | — |
| 商品自主回収関連損失引当金繰入額 | 40,229 | — |
| 減損損失 | 97,949 | 95,775 |
| 賃貸借契約解約損 | — | 12,779 |
| 特別損失合計 | 145,836 | 116,754 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 1,089,423 | △599,278 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 476,463 | 184,852 |
| 法人税等調整額 | 116,961 | △71,977 |
| 法人税等合計 | 593,425 | 112,874 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 495,997 | △712,153 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,926 | 4,304 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 493,071 | △716,458 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 495,997 | △712,153 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △142,275 | 537,395 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,769 | △45,389 |
| 為替換算調整勘定 | △135,491 | △90,317 |
| その他の包括利益合計 | △275,998 | 401,688 |
| 四半期包括利益 | 219,999 | △310,465 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 217,072 | △314,770 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,926 | 4,304 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の終息時期やその拡大にともなう事業活動への影響について見通すことは困難であるため、当社グループでは足元の業績状況を踏まえ、今後徐々に収束していくものと仮定して、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書で記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 家具家庭用品 事業 | 服飾雑貨 事業 | 家電事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,985,331 | 11,313,870 | 4,774,672 | 30,073,874 | 1,636,801 | 31,710,676 | — | 31,710,676 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 31,653 | 7,346 | 38,999 | 72,700 | 111,700 | △111,700 | — |
| 計 | 13,985,331 | 11,345,524 | 4,782,018 | 30,112,874 | 1,709,502 | 31,822,376 | △111,700 | 31,710,676 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 812,916 | 475,722 | 481,808 | 1,770,448 | 16,874 | 1,787,323 | △598,798 | 1,188,524 |

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△598,798千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「服飾雑貨事業」セグメントにおいて、採算性が悪化している小売店舗の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損処理を行うことが妥当であると判断し、減損損失を計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては97,949千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|--------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 家具家庭用品 事業 | 服飾雑貨 事業 | 家電事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,151,244 | 6,703,338 | 3,303,964 | 22,158,546 | 1,486,751 | 23,645,297 | — | 23,645,297 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 3,154 | — | 3,154 | 63,646 | 66,800 | △66,800 | — |
| 計 | 12,151,244 | 6,706,492 | 3,303,964 | 22,161,701 | 1,550,397 | 23,712,098 | △66,800 | 23,645,297 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 511,371 | △692,245 | 68,175 | △112,698 | 59,419 | △53,279 | △580,229 | △633,509 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△580,229千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「服飾雑貨事業」セグメントにおいて、採算性が悪化している小売店舗の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損処理を行うことが妥当であると判断し、減損損失を計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては95,775千円であります。